

2026年2月9日

株式会社日本政策金融公庫

第6回「全国オンライン商談会」の開催結果

～中小企業者のビジネスチャンス拡大を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）は、2026年2月2日（月）～6日（金）の5日間にわたり、第6回「全国オンライン商談会」を開催しました。本商談会は、従来、対面形式で実施していた全国規模の商談会を、2020年度よりオンライン形式に変更して開催しているもので、お取引先のビジネスチャンス拡大の支援等を目的としています。

今回は、令和6年能登半島地震からの復興支援の輪を広げていくため、協賛機関である北國銀行、のと共栄信用金庫、興能信用金庫のお取引先も含むセラー645社が参加し、大手企業等と販路拡大につながる商談を行いました。また、協賛機関等と連携した経営課題解決支援として、外国人雇用や知財活用等に関する相談会も実施しました。

日本公庫は、販路開拓など中小企業の皆さまの多様なニーズに対応すべく、ビジネスマッチング支援にも取り組んでまいります。

【開催データ】

開催回	(今回)	(前回)
会期	2026年2月2日～6日	2025年2月3日～7日
商談形式	オンライン個別面談	オンライン個別面談
参加企業	セラー	645社
	バイヤー	130社
	スタートアップ	10社
延べ商談件数	1,038件	866件
商談会の様子 (撮影場所：日本公庫)		

参考

【参加企業の一例】

セラー：佃食品株式会社（セラー）

バイヤー：株式会社郵便局物販サービス（バイヤー）

企業名 (所在地)	佃食品株式会社 (石川県金沢市)	 <p>人気商品の詰め合わせギフト 「佃・撰（つくだえらび）」</p>
業種	製造業	
商材	新しい佃煮・惣菜のギフト他	

×

企業名 (所在地)	株式会社郵便局物販サービス (東京都江東区)	 <p>産地から直接お客様にお届けする 全国の郵便局の強力な販売網を基盤 として地域産品の販売事業を行う</p>
業種	小売業	
ニーズ	食品を中心とした各地域の特産品	

【セラー・バイヤーの声】

セラーの声

- これまで着手できていなかった販路拡大を目的として参加した。事前にバイヤーのニーズを確認した上で商談に臨むことができたので、有意義な商談となった。興味を示して頂いた企業とは、今後も商談を継続したい。
- 30分という商談時間でも掘り下げた話ができるため、知識や情報を蓄積する機会にもなった。オンライン商談会への参加は、商談の成否だけでなく、情報収集の観点からも重要であると感じている。
- 今回、初めてオンライン商談会に参加した。能登地域の働き手が少なくなっている中、地域外に出て商談をすることが難しくなっていたので、このような商談の機会を設けて頂けることは有難い。

バイヤーの声

- オンライン商談会には初回から参加しており、毎回20社程度と商談を行っている。過去含め、自社のニーズを満たす加工技術を持つセラー企業との出会いがある等、貴重な機会である。
- 今回は、海外輸出が可能な食品メーカーとの商談を目的として参加した。海鮮、肉、調味料等、様々なメーカーとの接点ができたので、継続して情報交換等を行いたいと考えている。
- 能登の商品を取り揃えることで、能登半島地震からの復興を後押ししたいと考え、参加した。今回の商談は良いきっかけであり、今後も商談を継続したい。